
ピエロ

日向梨久

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ピエロ

【Nコード】

N0948D

【作者名】

日向梨久

【あらすじ】

少女はピエロと出遭った。ピエロは少女の代わりに復讐をしてくれる。そして一枚のトランプを残した。

さあ、サーカスの始まりだよ。

少女はその声で目覚めた。目の前には赤と青と緑の縞模様の衣装に身を包んだピエロが居た。大きな真つ赤な鼻に、顔面に施された白と赤の化粧。

ピエロは大きな口をにいつと歪めると、どこからとも無くボールを4つ取り出した。それを器用に投げては掴み、また投げては掴み。「あ」

ポンと1個のボールが少女の足元に転がった。サッカーボールくらいの大きさのそれは、目を剥き出しにした父親の顔だった。歪んだ口元からは血が滴り落ちている。

「あ、あは……あははははは」

少女は笑った。少女は父親が嫌いだった。年中お酒を飲んで暴力を振るう父親が。

ピエロはその様子に満足したのか、今度は短剣を4本、また何処からとも無く取り出した。それを投げては掴み、投げては掴み。不意に少女と同じ背丈くらいの箱が登場した。ピエロはその箱に短剣をグサリ。もう1本もグサリ。更にもう1本もグサリ。

箱の鍵が開けられ、中から血まみれになった少年が倒れて来た。少女はその少年の顔に見覚えがあった。学校でいつも虐めてくる、ガキ大将。

ピエロは最後の短剣を少年の首筋にグサリ。鮮血が辺りに飛び散った。

「あはははははっ」

少女はまた笑った。顔に付着した血を拭いもせずに。

「ねえ、ピエロさん、お次はなあに？」

ピエロは方を竦めるとまた大きな赤い口をにいつと歪ませた。今度は斧を取り出すと、カーテンの後ろから何かを引っ張り出した。それは猿轡を付けられた、全身縛られた担任の先生だった。

ピエロは躊躇無く、その右足を切断した。猿轡を付けられた口から苦悶のうめき声が漏れる。

「あはっ、あはははっ！」

次は左足。次は右腕、左腕。両手足を失った教師はまるで芋虫のようだった。傷口からはビュービューと鮮血が溢れ出している。

ピエロは次に教師の首筋に斧を当てた。

「ねえ、ピエロさん。私にやらせてよ」

ピエロは肩を竦めると、少女に斧を手渡した。少女は重い斧を振りかぶると、何の躊躇もなく振り下ろした。ダンッ。ゴロリ。

コロコロと転がる教師の頭部が面白くて、少女はまた笑った。笑って笑って、笑い過ぎて涙が零れてきた。

「ねえ、ピエロさん。次は？」

今日はもうお終い。

そう言って、ピエロは少女にトランプを手渡した。ピエロの絵が描かれたジョーカーのトランプ。

そこで少女の意識は途絶えた。

それは悲惨な事件だった。発見したのは母親で、夫が寝室で首を切断されて死んでいた。それだけではない。少女の同級生の男子生徒が、何者かによって刺殺された。そしてその担任の教師は、両手両足、そして頭部を切断された状態で見付かった。

このショッキングなニュースは直ぐにマスメディアで取り上げられ、大きな話題となった。

少女は父親の葬儀に参列していた。すすり泣く母親の横で、少女は無表情に立ち尽くしていた。ポケットをそつと探る。そこにはピエロのジョーカーが微笑んでいた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0948d/>

ピエロ

2010年10月28日06時40分発行